

どこまで続くの？湘南大橋

長い橋には長〜い歴史が

豆記者

武 眞由子

牧野 友香

平塚で、一番長い橋といえば湘南大橋です。わたしたちは、この橋のことを知りたくて、歴史に詳しい内藤さんと神保さんにお話を聞きました。



ずいぶん歴史があるんですね



初代・湘南大橋

横須賀から大磯までを結ぶ湘南海岸道路は、今日も遠くへ出かける車であふれています。もし、ここに湘南大橋がなかったら、とても不便だったでしょうね。

相模川にかかっている今の湘南大橋、実は二代目の橋なんです。

初代・湘南大橋は、昭和十一年に完成しました。そのころは、車の交通量が少なく、松の緑も豊かだったそうです。コンクリート製で橋の長さは六百五十七メートル。湘南地区を代表する橋でした。そのため「湘南大橋」と名付けられました。

おしゃれなデザインの橋には、二十四個の半円バルコニーがあって、中にはここから釣りを楽しむ人もいたそうです。また、橋げたの間を泳いで茅ヶ崎まで行かれたら、子どもたちの間で一人前の男として認められたそうです。楽しそうですね。

今の湘南大橋は、初代の橋がとても古くなったので新しく造り替え、昭和六十一年に完成しました。取り壊された初代の橋は、海の中で魚礁という魚の住み家に生まれ変わり、今も役に立っています。

初代よりも海側にかけられた二代目には、海の塩に負けないような工夫がされています。橋の長さは前よ



りっぱな碑の前で、ハイ・チーズ！

もさわやかで気持ちよかったです。こんな身近な橋にも、たくさん歴史があるってすごいですね。二代目・湘南大橋、本当にかっこいいよ！

り四十一メートルも延びて、平塚で文句なしの一番、六百九十八メートル。歩道には湘南潮来の美しい景色が見られるようにと、初代と同じようにバルコニーも造られています。

今の湘南大橋に行くと、そこから見る海はともきれいでした。海風



湘南大橋は平塚で一番！